

「みんなの力でみんなのために」

横手明峰中学校 横井 史菜

私は、小さい頃からアレルギーの治療のため、毎月通院しています。飲むことが嫌になってしまふほど多かった薬も、今ではだいぶ少なくなり、日常生活への支障も減ってきました。「マル福持った?。」私が小学生の頃に母からかけられた言葉です。私は、マル福って何だろうと思い、調べてみました。

マル福とは正式には「福祉医療制度・受給者証」のことでした。中学校三年生までが対象で、助成対象者が医療機関や薬局にかかった際に対象の疾病の限定なく医療保険各法適用の医療費の自己負担額を助成するのがこの制度です。この制度にかかる費用は、秋田県と横手市民の税金で支えられています。つまり、秋田県民と横手市民の税金によって対象となる中学三年生までの市民の健康が支えられていることになりました。

これまで私は、秋田県民・横手市民に支えられてアレルギーの治療をしてきたことになりました。マル福は生活を安心して送るための大切な存在です。それはあたりまえなものではなく、秋田県民・横手市民の皆さんが、税金を納めてくれているからこそ実現しているのです。

このマル福を支えている税金は他にも私たちの生活を支える重要な役割を果たしています。私たちが毎日様々な場面で安心して生活を送ることができるようにするための制度を運営したり、施設や設備を整えたりする費用は税金でまかなわれています。少子高齢化が進んでいるため、今後、高齢者が増加していくことで年金や老人ホームの運営などさらに税金の必要性が高くなることが予想されます。また、これから生まれてくる子どもたちが健やかに成長し、豊かな社会をつくっていくためにも税金を大切に運用していくことが重要だと思えます。

マル福について調べたことで、みんなが納めている税金は全ての世代・みんなのために使われていることを知ることができました。みんなの税金によって毎日健康に過ごすことができているということを改めて考えることができました。

将来、税金を納める立場になったら「みんなの力でみんなのために」を心に留め、しっかり納めていきたいです。税を納めることは必ず誰かのためになります。税金は全ての世代の人たちの笑顔につながります。税金で全ての世代の人たちが笑顔になる社会を実現するためにも自分の役割をしっかりと果たしていきたいです。